

ヒンディー語研修テキスト 2

文 法

町 田 和 彦 編

東京外国語大学
アジア・アフリカ言語文化研究所

1994

文 法

町 田 和 彦 編

まえがき

本テキストは1994年(平成6年)度、東京外国語大学アジア・アフリカ言語文化研究所言語研修「ヒンディー語」のために作成された。

このテキスト作成にあたって、東京外国語大学外国語学部(インド・パキスタン語学科)の田中敏雄教授との共著「エクスプレス ヒンディー語」(白水社, 1986)を自由に参照した。説明に関しては、変更した個所が少なくないが、それは私の考えが変わったためである。

このテキストの印刷用版下には、 $\text{T}_{\text{E}}\text{X}^1$ および $\text{T}_{\text{E}}\text{X}$ 上のデーヴァナーガリーシステムであるFrans J. Velthuis氏のDevanagari for $\text{T}_{\text{E}}\text{X}$ version 1.2を使用した。さらに国際音声記号については、小林肇・福井玲・白川俊三氏によるTSIPAを使用した。これらの方々を含めて、 $\text{T}_{\text{E}}\text{X}$ 上のさまざまなマクロ等を開発しているすべてのかたがたに感謝を捧げたい。

ここではあえてお名前は挙げないが、この教材作成は、多くの方の有形無形の援助を得て可能になった。私の準備不足から、本研究所の研修・情報処理係の中島さんには多大のご迷惑をおかけした。本研究所の高島淳助教授は、 $\text{T}_{\text{E}}\text{X}$ の環境を整えてくださり、私のいろいろな質問に答えてくださった。これらの方々に、特にこの場をお借りして深く感謝を申し上げる。

町田 和彦

1994. 6. 28

¹⁾ $\text{T}_{\text{E}}\text{X}$ は Donald E. Knuth 氏の開発したコンピュータ組み版システムである。

目次

1	語順	2
1.1	名詞句の語順	2
1.2	文の語順	4
2	文法性と自然性	6
3	名詞の活用変化	8
3.1	名詞(主格)の単数形／複数形	10
3.2	名詞(後置格)の単数形／複数形	12
3.3	名詞の活用変化のまとめ	14
3.3.1	規則的な活用変化	14
3.3.2	潜在母音シュワーの出没	16
3.3.3	語尾が鼻母音の名詞	16
3.3.4	女性名詞の補足	16
3.3.5	短母音で終わる名詞	18
3.3.6	例外的な活用変化をする男性名詞	18
3.3.7	綴りのゆれ	18
3.3.8	固有名詞	18
3.3.9	呼格	18
3.3.10	後置詞を伴わない後置格	20
4	形容詞の活用変化	22
4.1	形容詞(主格)の単数形／複数形	22
4.2	形容詞(後置格)の単数形／複数形	22
4.3	形容詞の活用変化のまとめ	24
4.3.1	規則的な活用変化	24
4.3.2	鼻母音で終わっている形容詞	24
4.3.3	綴りのゆれ	26
4.3.4	変化しない形容詞	26
5	代名詞変化	28
6	疑問詞, 近称詞, 遠称詞, 関係詞	30
7	動詞	32
8	コピュラ動詞	34

8.1	コンピュータ動詞現在形「…です, …あります」	36
8.2	コンピュータ動詞過去形「…でした, …ありました」	38
8.3	コンピュータ動詞未来形「…でしょう, …あるでしょう」	40
8.4	コンピュータ動詞不確定未来形「…かも, …ような」	42
8.5	コンピュータ動詞非現実仮定形「…だったら, …あったら」	44
8.6	所有表現	46
9	一般動詞	48
9.1	一般動詞不定詞「…すること」	48
9.1.1	不定詞語幹タイプ1	50
9.1.2	不定詞語幹タイプ2	52
9.2	自動詞, 他動詞, 使役動詞	54
9.2.1	使役動詞	56
9.3	一般動詞の語尾接辞	64
9.4	述語動詞部の統一的・系列的関係	66
9.5	命令形「…しなさい」と依頼形「…するように」	68
9.5.1	語幹が規則的な命令形と依頼形	70
9.5.2	語幹が不規則な命令形と依頼形	70
9.6	未来形「…するでしょう」と不確定未来形「…するかも, …するみたい」	72
9.6.1	語幹が規則的な(不確定)未来形	74
9.6.2	語幹が不規則な(不確定)未来形	76
9.7	未完了表現	78
9.7.1	未完了分詞「…する…」	80
9.8	完了表現	82
9.8.1	他動詞完了表現と能格	82
9.8.2	完了分詞「…した…」	84
9.8.3	語幹が規則的な完了分詞	84
9.8.4	語幹が不規則な完了分詞	86
9.8.5	状態表現	88
9.9	未完了表現と完了表現	90
9.10	進行表現	92
9.11	可能表現	94
9.12	受動表現	96
9.13	複合動詞	98
10	数詞	100

10.1 数字	100
10.2 基数詞 (-1 ~ +3)	102
10.3 基数詞 (+4 ~ +8)	103
10.4 位取り, 桁	103
10.5 順序数詞, 集合数詞	104

このテキストは、ヒンディー語文法の骨組みを、参照の便を考慮して項目別に整理したものです。文の中で特に重要な要素である述語動詞の形式と活用変化を中心にまとめてあります。

教室では、関連する例文や語法上の注意を補って説明します。右側のメモ欄はそのために設けてあります。

1 語順

ヒンディー語の語順は、基本的に日本語と同じです。

1.1 名詞句の語順

मेरी	भेजी	दो	जापानी	किताबें
merī	b ^h ejī	do	jāpānī	kitābē
私の	送った	2冊の	日本語の	本

1.2 文の語順

語順は一定で、肯定文や否定文で語順が変わることはありません。¹⁾

否定辞は動詞(句)の直前に、置かれるのが普通です。

文の構成要素(主語、目的語、動詞など)は、文脈が明らかならば自由に省略することができます。

ヒンディー語の文で一番重要なのは、述語動詞(句)です。動詞句の一部だけを省略することはありません。

コピュラ動詞文(状態を表わす)

		主語	副詞句		補語	否定辞	コピュラ動詞
肯定		(वह किताब) (vahṣ kitābṣ) (その本は)	(सुबह) (subahṣ) (朝)	(यहाँ) (yahā) (ここに)	(सस्ती) (sastī) (安い)		था thā …でした
否定						नहीं nahī …ない	था thā …でした
疑問		(कौन, क्या) (kaunṣ, kyā) (誰が, 何が)	(कब) (kabṣ) (いつ)	(कहाँ) (kahā) (どこに)	(कैसे) (kaisā) (どのような)		? か
疑問	(क्या) (kyā)	(वह किताब) (vahṣ kitābṣ) (その本は)	(सुबह) (subahṣ) (朝)	(यहाँ) (yahā) (ここに)	(सस्ती) (sastī) (安い)		था thā …でした か

一般動詞文(動作・変化を表わす)

		主語	副詞句			目的語	否定辞	述語動詞
肯定		(वह) (vahṣ) (彼は)	(रोज) (rozṣ) (毎日)	(यहाँ) (yahā) (ここで)	(चुपचाप) (cupṣcāpṣ) (黙って)	(किताब) (kitābṣ) (本を)		पढ़ता था parṣṥtā thā 読む… …でした
否定							नहीं nahī …ない	पढ़ता था parṣṥtā thā 読む… …でした
疑問		(कौन) (kaunṣ) (誰が)	(कब) (kabṣ) (いつ)	(कहाँ) (kahā) (どこで)	(कैसे) (kaise) (どのように)	(क्या) (kyā) (何を)		? か
疑問	(क्या) (kyā)	(वह) (vahṣ) (彼は)	(रोज) (rozṣ) (毎日)	(यहाँ) (yahā) (ここで)	(चुपचाप) (cupṣcāpṣ) (黙って)	(किताब) (kitābṣ) (本を)		पढ़ता था parṣṥtā thā 読む… …でした か

¹⁾ 修辭的要素の強い詩や、強調文などでは例外的に変わることがあります。

2 文法性と自然性

文法性 (gender) と自然性 (sex)²⁾

文法性	自然性のあるもの	自然性のないもの
男性	कुत्ता kuttā (雄) 犬 कछुआ kac ^h uā (雄) 亀 दोस्त dost ^ṣ (男の) 友人 पिता pitā 父 बिल्ला billā 雄猫 भाई bhāī 兄弟 लड़का laṛakā 少年 हाथी hāthī (雄) 象 हिंदू hiṁdū ヒンドゥー教徒	आगरा āgarā アーグラ (地名) कुआँ kuā 井戸 खाना k ^h ānā 食事 घर g ^h ar ^ṣ 家 धर्म d ^h arm ^ṣ 宗教 मांस māms ^ṣ 肉 रविवार ravivār ^ṣ 日曜日 लंदन laṁdan ^ṣ ロンドン समय samay ^ṣ 時間
女性	कुतिया kutiyā 雌犬 बहन bahana 姉妹 बहू bahū 嫁 बिल्ली billī (雌) 猫 माता mātā 母 लड़की laṛakī 少女 सहेली sahelī (女同士) の友人 सास sāṣ ^ṣ 姑 हथिनी hat ^h inī 雌象	इमारत imārat ^ṣ 建物 किताब kitāb ^ṣ 本 टैक्सी ṭaiksī タクシー दिल्ली dillī デリー (地名) सड़क saṛak ^ṣ 道 सुई suī 針 सेना senā 軍隊 हथेली hat ^h elī 手のひら हिंदी hiṁdī ヒンディー語

²⁾ 自然性の性 (男性/女性) は、文法性の性 (男性/女性) と一致します。

男性名詞 मच्छड़ mac^har^ṣ 「蚊」や女性名詞 मक्खी makk^hī 「蠅」などは、自然性の区別がありません。この場合 nar- nar^ṣ 「雄」 मादा- mādā- 「雌」を語頭に付加して表わすことができます。

प्रधानमंत्री prad^hān^ṣmātrī 「首相」など職業を表わす名詞のほとんどは、男性名詞です。しかし、必要に応じて「女性の首相」も表わせます。

OIA (Old Indo-Aryan) の中性名詞のほとんどが男性名詞に吸収されたこともあり、ヒンディー語では、男性名詞が女性名詞より多いと言えます。

3 名詞の活用変化

ほとんどの名詞が、子音 (-Cɸ) または長母音 (-ā, -ī, -ū) で終わります。³⁾

名詞は格(主格/後置格)と数(単数/複数)に応じて規則正しく語尾変化します。名詞の辞書の見出し語は主格・単数形です。

³⁾ 長母音で終わる名詞のうち、母音字より母音記号の場合がはるかに多いことは覚えていて損はないでしょう。また、母音字 -ɸ で終わる名詞はほとんどありません。

3.1 名詞(主格)の単数形/複数形

ここでは主格の語尾変化を学びます。

語尾変化の部分は母音で始まりますが、その母音が母音記号であるか母音字であるか注意しましょう。⁴⁾

表の中の□は子音字をあらわします。

				例	
文法性	語尾タイプ	単数	複数	単数	複数
男性	1 -ā	-ā	-e	-ā	-e
	□	□	□	लड़का larək-ā	लड़के larək-e
	-आ	-आ	-ए	कड़ुआ kac ^h u-ā	कड़ुए kac ^h u-e
	2 その他	—		—	
	□	□	□	घर g ^h arʃ	हाथी hāth-ī
	□	□	□	भाई bhā-ī	हिंदू himd-ū
女性	3 -ī	-ī	-iyā	-ī	-iyā
	□	□	□ियाँ	लड़की larək-ī	लड़कियाँ larək-iyā
	-ई	-ई	-इयाँ	सुई su-ī	सुइयाँ su-iyā
	4 その他	-	-ē	-	-ē
	□	□	□	किताब kitāb	किताबें kitāb-ē
	□	□	□एँ	माता mātā	माताएँ mātā-ē
-आ	-आ	-आएँ	बूआ būā	बूआएँ būā-ē	
□	□	□एँ	बहू bahū	बहूएँ bahu-ē	

⁴⁾ もとの形が子音で終わっている場合(-Cʃ), 付加される母音は, 直前の子音と音節文字を構成するため必ず母音記号で表記されます。例えば किताब の複数形は किताबएँ ではなく किताबें です。

またもとの形が母音で終わっている場合は, 付加される母音は母音字で書かれます。ただし, 長母音-ūで終わっている場合は, 短母音化-ūにしたものに母音が付加されます。例えば बहू の複数形は बहूएँ となる要領です。

3.2 名詞(後置格)の単数形/複数形

後置格は、直後に後置詞が来る場合の語形です。したがってすでに学んだ主格は、直後に後置詞が来ない場合の語形といえます。⁵⁾

男性名詞の語尾タイプ1の後置格・単数は主格・複数と同じ形になります。他の後置格・単数は主格・単数と同じです。後置格・複数はすべて-ōで終わります。⁶⁾

表の中の□は子音字をあらわします。

文法性	語尾タイプ	例				
		単数	複数			
男性	1 -ā	-e	-ō	-e	-ō	
		□	□	लड़के laṛək-e	लड़कों laṛək-ō	
		-आ	-ओं	कछुए kacḥu-e	कछुओं kacḥu-ō	
	2 その他	-	-ओं	-	-ō	
		□	□	घर g ^h ar	घरों g ^h ar-ō	
		□	□	हाथी hat ^h -ī	हाथियों hat ^h -iyō	
		-ई	-इयों	भाई bhā-ī	भाइयों bhā-iyō	
		□	□	हिंदू himd-ū	हिंदुओं himd-uō	
	女性	3 -ī	-ī	-iyō	-ī	-iyō
			□	□	लड़की laṛək-ī	लड़कियों laṛək-iyō
-ई			-इयों	सुई su-ī	सुइयों su-iyō	
4 その他		-	-ō	-	-ō	
		□	□	किताब kitāb	किताबों kitāb-ō	
		□	□	माता mātā	माताओं mātā-ō	
		-आ	-आओं	बूआ būā	बूआओं būā-ō	
□		□	बहू bahū	बहुओं bahu-ō		

⁵⁾ つまり、主格は非後置格と呼んでもさしつかえないほどです。このテキストでは、「主格」は「もともとなる中心の語形」ぐらいの意味で使っています。ヒンディー語では、格(語形)はかならずしも意味(たとえば主語)と一致しません。格は、直後に後置詞が来るかどうかで自動的に決定される語形にすぎません。

主格を直格(upright case)、後置格を斜格(oblique case)という人もいます。

⁶⁾ もとの形が、長母音-□-īあるいは-□-ūで終わっている場合は、それぞれ短母音化して-□ियों-iyō、-□ओं-uōとなります。

3.3 名詞の活用変化のまとめ

3.3.1 規則的な活用変化

これまで、主格(単数/複数)、後置格(単数/複数)の順に名詞の活用変化を学んできました。

名詞の活用変化は、主格と後置格それぞれに単数と複数の区別があり、組み合わせると4つの語形があります。しかし実際には、4つとも異なる語形をもつ名詞はありません。下の表は共通の語形を明示するために、単数(主格/後置格)、複数(主格/後置格)でまとめてあります。

文法性	語尾タイプ	単数		複数	
		主格	後置格	主格	後置格
男性	1 -ā	-ā	-e	-ō	
	2 その他	—		-ō	
女性	3 -ī	-ī	-iyā	-iyō	
	4 その他	—		-ē	-ō

具体的な活用変化を下に出しておきます。表の中の□は子音字をあらわします。

文法性	語尾タイプ	単数		複数	
		主格	後置格	主格	後置格
男性	1 -ā	-ā	-e	-ō	
	□ -आ	लड़का कड़ुआ	लड़के कड़ुए	लड़कों कड़ुओं	
女性	2 その他	—		-ō	
	□	घर		घरों	
	□ी	हाथी		हाथियों	
	-ई	भाई		भाइयों	
	□	हिंदू		हिंदुओं	
女性	3 -ī	-ī	-iyā	-iyō	
	□ी -ई	लड़की सुई	लड़कियाँ सुइयाँ	लड़कियों सुइयों	
女性	4 その他	—		-ē	-ō
	□	किताब	किताबें	किताबों	
	□ा	माता	माताएँ	माताओं	
	-आ	बूआ	बूआएँ	बूआओं	
	□	बहु	बहुएँ	बहुओं	

3.3.2 潜在母音シュワーの出没

主格・単数が子音 (-□- $C\beta$) で終わる名詞の語尾変化は、語尾に母音で始まる要素が付加されるため語全体の音節構造が変化してしまう場合があります。⁷⁾

文法性	語尾タイプ	単数		複数	
		主格	後置格	主格	後置格
男性	2 その他 -□	—		-ō	
		नौकर naukarβ बादल बादलβ		नौकरो naukarō बादलो बादलō	
女性	4 その他 -□	—		-ē	
		सड़क sarakβ इमारत imaratβ		सड़के sarakē इमारते imaratē	
				-ō	
				सड़को sarakō इमारतो imaratō	

3.3.3 語尾が鼻母音の名詞

鼻母音 -ã で終わる名詞は、基本的には -ã で終わる名詞 (男性名詞ならタイプ 1, 女性名詞ならタイプ 4) と同じ活用変化をします。ただし鼻母音は維持されます。⁸⁾

3.3.4 女性名詞の補足

चिड़िया 「小鳥」、बँदरिया 「雌猿」など -iyã で終わる女性名詞は -i で終わる女性名詞と同じ語尾変化をします。

⁷⁾ 「文字と発音」の説明を参照してください。主格・単数が (C)VCaCβ, (C)VCVCaCβ の構造をもつ名詞は、それぞれ母音が付加されると (C)VCβCV, (C)VCVCβCV になります。

⁸⁾ 男性名詞では कुआँ kuã 「井戸」、धुआँ dhuã 「煙」などで、女性名詞では माँ mā 「母」などです。

3.3.5 短母音で終わる名詞

サンスクリット語からの借用語には、短母音 $-i$ 、 $-u$ で終わるものがあります。短母音 $-i$ で終わる名詞の活用変化は、基本的には $-i$ で終わる名詞と同じ語形変化をします。

पति *pati m.* 夫, राजनीति *rājānīti f.* 政治

3.3.6 例外的な活用変化をする男性名詞

$-ā$ で終わる男性名詞で例外的な活用変化をするものがあります。以下の名詞は、語尾タイプ 2 と同じ活用変化をします。

- サンスクリット語からの借用語

राजा *rājā* 王, नेता *netā* 指導者, पिता *pitā* 父

- 同じ子音が反復される親族名詞

मामा *māmā* (母方の) 叔父, चाचा *cācā* (父方の) 叔父, दादा *dādā* (父方の) 祖父

3.3.7 綴りのゆれ

語尾タイプ 4 のうち、母音で終わるものは主格・複数の語尾が、 $-एँ$ で書かれたり、 $-यें$ で書かれたりします。⁹⁾

発音は同じですが、後者はやや古風な綴りです。

3.3.8 固有名詞

原則として不変化ですが、 $-ā$ で終わる男性名詞は後置格が $-e$ となることも許されます。¹⁰⁾

3.3.9 呼格

呼び掛けに使用される名詞の形は、原則として後置格です。ただし複数は鼻母音ではなく $-o$ で終わるのが普通です。

⁹⁾ なお गाय *gāyā* 「雌牛」の主格・複数は、गाएँ, गायें いづれもあります。

語尾タイプ 1 の名詞 रुपया 「ルビー」の主格・複数は रुपये, रुपए いづれもあります。

¹⁰⁾ 例えば आगरा, कलकत्ता, पटना, शिमला などです。

3.3.10 後置詞を伴わない後置格

4 形容詞の活用変化

-ā で終わる形容詞は、被修飾語の格(主格/後置格)・性(男性/女性)・数(単数/複数)に従って変化します。形容詞の辞書の見出し語形は主格・男性・単数の場合です。-ā で終わらない形容詞は常に不変化です。

形容詞変化(主格)は、特に動詞の性(男性/女性)・数(単数/複数)に従う変化とほとんど一致しています。

अच्छा acc^h-ā 「良い」の例を挙げておきます。

4.1 形容詞(主格)の単数形/複数形

主格		
文法性	単数	複数
男性	अच्छा acc ^h -ā	अच्छे acc ^h -e
女性	अच्छी acc ^h -ī	

4.2 形容詞(後置格)の単数形/複数形

後置格		
文法性	単数	複数
男性	अच्छे acc ^h -e	
女性	अच्छी acc ^h -ī	

4.3 形容詞の活用変化のまとめ

4.3.1 規則的な活用変化

これまで、主格(単数/複数)、後置格(単数/複数)の順に形容詞の活用変化を学んできました。

形容詞の活用変化は、各性(男性/女性)ごとに格(主格/後置格)と数(単数/複数)を注意しなければいけません¹¹⁾。実際には、いたって単純な変化で3つの語形しかありません。下の表は共通の語形を明示するために、単数(主格/後置格)、複数(主格/後置格)でまとめてあります。女性形は常に-iです。

文法性	単数		複数	
	主格	後置格	主格	後置格
男性	अच्छा acc ^h -ā		अच्छे acc ^h -e	
女性	अच्छी acc ^h -ī			

4.3.2 鼻母音で終わっている形容詞

鼻母音 -ã で終わっている形容詞は、鼻母音を維持したまま変化します。

たとえば、順序数詞語尾 -वाँ -vã 「…番目の」、दायाँ dāyã 「右の」、बायाँ bāyã 「左の」、जुड़वाँ juṛṛvã 「双子の」などです。

順序数詞 पाँचवाँ pācṣvã 「5番目の」の変化を下に示します。

文法性	単数		複数	
	主格	後置格	主格	後置格
男性	पाँचवाँ pācṣv-ā		पाँचवें pācṣv-ē	
女性	पाँचवीं pācṣv-ī			

¹¹⁾ 理論的には8通りの形があることになります。

4.3.3 綴りのゆれ

-या -yā, -याँ -yā̃ で終わっている形容詞の変化形は、綴りにゆれがあります。

男性形(主格・単数を除く)は、-ये -ye, でも -ए -e でもかまいません。

女性形は、-यी -yī, でも -ई -ī でもかまいません。

発音はいずれも、母音字で書く後者 -ए, -ई の場合と同じです。最近は発音通り母音字で書く場合が多いようです。

नया nayā 「新しい」と दायाँ dāyā̃ 「右の」の場合を下に示します。

文法性	単数		複数	
	主格	後置格	主格	後置格
男性	नया nay-ā		नए na-e	
女性	नई na-ī			

文法性	単数		複数	
	主格	後置格	主格	後置格
男性	दायाँ dāy-ā̃		दाएँ dā-ē	
女性	दाई dā-ī			

4.3.4 変化しない形容詞

語尾が -ā で終わっていても変化しない例外的な形容詞があります。

- -iyā で終わっている形容詞は変化しません。¹²⁾

घटिया 「粗悪な」, बढिया 「上等な」, शौकिया 「遊び好きな」など。

- ペルシャ語やアラビア語からの借用語で -ā で終わっている形容詞に、変化しないものがあります。¹³⁾

खुफ़िया 「秘密の」, जिंदा 「生きてる」, जमा 「集まった」, पैदा 「生まれた」, मना 「禁じられた」, मौजूदा 「現行の」, रवाना 「出発した」, शादीशुदा 「既婚の」など。

¹²⁾ これらは、動詞語幹や名詞からの派生した形容詞です。

¹³⁾ ज्यादा 「多い」, ताजा 「新鮮な」などは、変化させる人もいます。

5 代名詞変化

		主格	後置格	能格	属格	融合形 (=後置格 को)	
人稱	単数	1	मैं	मुझ [मुझी]	मैं	मेरा	मुझे (= मुझको)
		2	तू	तुझ [तुझी]	तू	तेरा	तुझे (= तुझको)
		3	यह [यही]	इस [इसी]		इसका	इसे (= इसको)
			वह [वही]	उस [उसी]		उसका	उसे (= उसको)
	複数	1	हम [हमी]			हमारा	हमें (= हमको)
		2	आप			आपका	(= आपको)
			तुम [तुम्ही]			तुम्हारा	तुम्हें (= तुमको)
		3	ये	इन [इन्ही]	इन्हों	इनका	इन्हें (= इनको)
			वे	उन [उन्ही]	उन्हों	उनका	उन्हें (= उनको)
		不定	単数	कोई	किसी		किसी का
複数	किन्हीं		किन्हीं का		(= किन्हीं को)		
疑問	単数	क्या, कौन	किस [किसी]		किसका	किसे (= किसको)	
	複数		किन [किन्ही]	किन्हों	किनका	किन्हें (= किनको)	
關係	単数	जो	जिस [जिसी]		जिसका	जिसे (= जिसको)	
	複数		जिन [जिन्ही]	जिन्हों	जिनका	जिन्हें (= जिनको)	

[] 内は助詞 ही 「…こそ, …だけ」と融合した強調形

6 疑問詞, 近称詞, 遠称詞, 関係詞

内容	品詞	疑問詞 k(-i)-	近称詞 y-, i-	遠称詞 v-, u-	関係詞 j(-i)-
1 もの, 人	代名(形容)詞 -hā	क्या, कौन	यह	वह	जो
2 質, 様態	形容詞, 副詞 -aisā	कैसा	ऐसा	वैसा	जैसा
3 量, 程度	形容詞, 副詞 -tānā	कितना	इतना	उतना	जितना
4 場所	副詞 -hā	कहाँ	यहाँ	वहाँ	जहाँ
5 方向	副詞 -d ^h arā	किधर	किधर	उधर	जिधर
6 時間	副詞 -bā	कब	कब	तब	जब

7 動詞

ヒンディー語の動詞は、コピュラ動詞 होना と、それ以外のすべての動詞（一般動詞）に分けられます。

動詞の辞書の見出し語形は、不定詞です。動詞の不定詞はすべて、-ना -nā で終わっています。この不定詞語尾を除いた前半部分を動詞語幹と呼びます。動詞の活用変化は、この動詞語幹に接辞が付いた形で説明できます。

コピュラ動詞と一般動詞の主な違いは以下の通りです。

特徴	コピュラ動詞	一般動詞
活用変化	動詞語幹が不規則	動詞語幹が規則的
意味	状態「です」「いる、ある」	動作・変化「する、なる」
位置	述語動詞(句)の末尾	述語動詞(句)の先頭

8 コピュラ動詞

コピュラ動詞は、等位の関係「…です」と存在「…あります [います]」を表わします。

以下のように5種類の形があります。語幹に付く接辞の {} に囲まれた部分は人称・数に従い、 / に囲まれた部分は形容詞変化(性・数)します。¹⁴⁾

人称代名詞		現在形 h-{ai}	過去形 t ^h -/ā/		未来形 h-{o}-g-/ā/	
		男性・女性 …です, …あります	男性 …でした,	女性 …ありました	男性 …でしょう,	女性 …あるでしょう
単数	1 मैं	हूँ h-ū	था t ^h -ā	थी t ^h -ī	होऊँगा h-oū-g-ā	होऊँगी h-oū-g-ī
	2 तू	है h-ai			होगा h-o-g-ā	होगी h-o-g-ī
	3 यह वह					
複数	1 हम	हैं h-āi	थे t ^h -e	थीं t ^h -ī	होंगे h-ō-g-e	होंगी h-ō-g-ī
	2 आप					
	3 ये वे					
	2 तुम	हो h-o	होगे h-o-g-e	होगी h-o-g-ī		

人称代名詞		不確定未来形 h-{o}	非現実仮定形 t ^h -/ā/	
		男性・女性 …かも, …ような	男性 …だったら,	女性 …あつたら
単数	1 मैं	होऊँ h-oū	था t ^h -ā	थी t ^h -ī
	2 तू	हो h-o		
	3 यह वह			
複数	1 हम	हों h-ō	थे t ^h -e	थीं t ^h -ī
	2 आप			
	3 ये वे			
	2 तुम	हो h-o		

¹⁴⁾ // に囲まれた部分が形容詞変化と若干違うのは、女性の単数/複数が区別されていて、それは鼻母音化の有無です。
{} に囲まれた部分の単数/複数の区別にも鼻母音化の有無が関与していることに注意してください。

8.1 コピュラ動詞現在形「…です, …あります」

コピュラ動詞現在形は, 等位や存在に関して, 話者の現在への言及「…です, …あります」を表わします。

コピュラ動詞現在形は, h-{ai} と分析することができます。-{ai}- の部分は人称 (1/2/3) と数 (単数/複数) に応じて変化します。男性/女性の区別はありません。

		現在形 h-{ai}
人称代名詞		男性・女性
単数	1 मैं māī 私	हूँ h-ū
	2 तू tū おまえ	
	3 यह yahā この人 वह vahā あの人	है h-ai
複数	1 हम hamā 私たち	हैं h-āi
	2 आप āpā あなた(がた)	
	3 ये ye この人たち वे ve あの人たち	
	2 तुम tumā 君(たち)	हो h-o

8.2 コピュラ動詞過去形「…でした, …ありました」

コピュラ動詞過去形は、等位や存在に関して、話者の過去への言及「…でした, …ありました」を表わします。

コピュラ動詞過去形は、 $t^h-/ā/$ と分析することができます。 $-/ā/$ の部分は形容詞変化です。人称による区別はありません。

		過去形 $t^h-/ā/$	
		男性	女性
人称代名詞			
単数	1 मैं māī 私	था $t^h-ā$	थी $t^h-ī$
	2 तू tū おまえ		
	3 यह yahā この人 वह vahā あの人		
複数	1 हम hamā 私たち	थे t^h-e	थीं $t^h-ī$
	2 आप āpā あなた(がた)		
	3 ये ye この人たち वे ve あの人たち		
	2 तुम tumā 君(たち)		

8.3 コピュラ動詞未来形「…でしょう，…あるでしょう」

コピュラ動詞未来形は、等位や存在に関して、話者の推測や確信「…でしょう，…あるでしょう」を表わします。

コピュラ動詞未来形は、 $h-\{o\}-g-\bar{a}/$ と分析することができます。 $-\{o\}-$ の部分は人称 (1/2/3) と数 (単数/複数) に応じて変化します。 $-\bar{a}/$ の部分は形容詞変化です。

人称代名詞		未来形 $h-\{o\}-g-\bar{a}/$	
		男性	女性
単数	1 मैं māī 私	होऊंगा h-oū-g-ā	होऊंगी h-oū-g-ī
	2 तू tū おまえ	होगा h-o-g-ā	होगी h-o-g-ī
	3 यह yahā この人 वह vahā あの人の人		
複数	1 हम hamā 私たち	होंगे h-ō-g-e	होंगी h-ō-g-ī
	2 आप āpā あなた (がた)		
	3 ये ye この人たち वे ve あの人たち		
	2 तुम tumā 君 (たち)	होगे h-o-g-e	होगी h-o-g-ī

8.4 コピュラ動詞不確定未来形「…かも，…ような」

不確定未来形は，等位や存在に関して，未来形が表わすほどの確信がない推測「…かも，…ような」を表わします。

不確定未来形は，未来形 h-{o}-g-/ā/ の最後の部分 -g-/ā/ (性・数に一致する) を省略したものです。従って，男性／女性の区別はありません。

		不確定未来形 h-{o}
人称代名詞		男性・女性
単数	1 मैं māi 私	होऊँ h-oū
	2 तू tū おまえ	हो h-o
	3 यह yahā この人 वह vahā あの人の	
複数	1 हम hamā 私たち	हों h-ō
	2 आप āpā あなた(がた)	
	3 ये ye この人たち वे ve あの人たち	
	2 तुम tumā 君(たち)	हो h-o

8.5 コピュラ動詞非現実仮定形「…だったら，…あつたら」

コピュラ動詞非現実仮定形は，あり得ない現実の仮定「…だったら，…あつたら」を表わします。¹⁵⁾

コピュラ動詞非現実仮定形は，ho-t-/ā/ と分析することができます。-/ā/ の部分は形容詞変化です。

人称代名詞		非現実仮定形 ho-t-/ā/	
		男性	女性
単数	1 मैं māī 私	होता ho-t-ā	होती ho-t-ī
	2 तू tū おまえ		
	3 यह yahṛ この人 वह vahṛ あの人の人		
複数	1 हम hamṛ 私たち	होते ho-t-e	होतीं ho-t-ī
	2 आप āpṛ あなた(がた)		
	3 ये ye この人たち वे ve あの人們		
	2 तुम tumṛ 君(たち)		

¹⁵⁾ 「あり得ない現実」の判断は，現在または過去についてのみ下せます。

8.6 所有表現

所有表現「(人は)…を持っている」は、「(人のそばに)…がある」という形式です。
副詞句「(人のそばに)」は (के पास) で表わします。

副詞句 (人のそばに)		主語 …が	(否定辞)	コピュラ動詞 ある
राम	के	कितनी गाड़ियाँ		हैं ?
मेरे पिता जी	के	एक गाड़ी		है ।
मेरे	पास	दो गाड़ियाँ		हैं ।
आपके		कुछ	नहीं	है ।
उसके		एक पुरानी घड़ी		थी ।
गुप्त जी	के	बहुत सी किताबें		होंगी ।
राम	के	पैसा		है ?
राजा	के	और समय		होता ।

9 一般動詞

9.1 一般動詞不定詞「…すること」

一般動詞の不定詞は、すべて語尾が $-nā$ で終わっています。辞書においては、動詞の見出し語はすべて不定詞形です。

この不定詞語尾を除いた部分が動詞語幹です。動詞語幹は動詞の意味そのもの（辞書的意味）をあらわします。

一般動詞の不定詞は、「…すること」を表わす名詞（男性・単数）としても使用できます。

不定詞語幹はすべて子音 $-C$ または長母音 $-V$ で終わります。

9.1.1 不定詞語幹タイプ1

不定詞語幹が子音 -Cʰ で終わるもの、長母音 -ā で終わるものを挙げておきます。ヒンディー語の一般動詞は、ほとんどがこのタイプです。

-□ -Cʰ			-□ -Cā		
उठना	uṭʰā-nā	vi. 起きる	आना	ā-nā	vi. 来る
करना	karʰā-nā	vt. …する	खाना	kʰā-nā	vt. 食べる
कहना	kahʰā-nā	vt. 言う	खिलाना	kʰilā-nā	vt. 食べさせる
काटना	kāṭʰā-nā	vt. 切る	गाना	gā-nā	vt. 歌う
खींचना	kʰĩcʰā-nā	vt. 引っ張る	घटना	gʰaṭā-nā	vt. 減らす
चलना	caḷā-nā	vi. 動く, 歩く	जलाना	jalā-nā	vt. 燃やす
चाहना	cāhā-nā	vt. 欲する	जाना	jā-nā	vi. 行く
छोड़ना	cʰoṛʰā-nā	vt. 放す	दबाना	dabā-nā	vt. 押す
जानना	jānā-nā	vt. 知る	दिखाना	dikʰā-nā	vt. 見せる
देखना	dekʰā-nā	vt. 見る	पकाना	pakā-nā	vt. 調理する
पकड़ना	pakaṛʰā-nā	vt. つかむ	पढ़ाना	paṛʰā-nā	vt. (勉強を) 教える
पढ़ना	paṛʰā-nā	vt. 勉強する, 読む	पिलाना	pilā-nā	vt. 飲む
पहचानना	pahcānā-nā	vt. 見分ける	बचाना	bacā-nā	vt. 救う
पहनना	pahanā-nā	vt. 着る	बढ़ाना	baṛʰā-nā	vt. 増やす
पूछना	pūcʰā-nā	vt. 尋ねる	बताना	batā-nā	vt. 伝える
बैठना	baiṭʰā-nā	vi. 座る	बनाना	banā-nā	vt. 作る
बोलना	bolā-nā	vi. しゃべる	बिछाना	bicʰā-nā	vt. 敷く
मिलना	milā-nā	vi. 会う	बुझाना	bujʰā-nā	vt. 消す
रखना	rakʰā-nā	vt. 置く	बुलाना	bulā-nā	vt. 呼ぶ
रहना	rahā-nā	vi. 住む	लटकाना	laṭakā-nā	vt. 吊るす
लगना	lagā-nā	vi. 思われる	लाना	lā-nā	vt. 持って来る
लिखना	likʰā-nā	vt. 書く	सिखाना	sikʰā-nā	vt. (技術を) 教える
समझना	samajʰā-nā	vt. 理解する	सुखाना	sukʰā-nā	vt. 乾かす
सुनना	sunā-nā	vt. 聞く	हटाना	haṭā-nā	vt. どける

9.1.2 不定詞語幹タイプ2

不定詞語幹が -ā を除く長母音 - \bar{V} で終わるものを挙げます。

このタイプは少数で、ここに挙げたものがほとんどですが、使用頻度の高いものや活用変化の際語幹が不規則になるものが含まれているので注意が必要です。

- $\bar{C}i$ - $\bar{C}i$			- $\bar{C}o$ - $\bar{C}o$		
जीना	jī-nā	vi. 生きる	चुभोना	cub ^h o-nā	vt. 突き刺す
पीना	pī-nā	vt. 飲む	खोना	k ^h o-nā	vt. 失う
सीना	sī-nā	vt. 縫う	डुबोना	ḍubo-nā	vt. 沈める
			दोना	ḍ ^h o-nā	vt. 運ぶ
			धोना	d ^h o-nā	vt. 洗う
- $\bar{C}ū$ - $\bar{C}ū$			पिरोना	piro-nā	vt. ひもに通す
चूना	cū-nā	vi. しみ出る	पोना	po-nā	vt. (ローティアーの形を) 手でととのえる
छूना	chū-nā	vt. 触れる	बिलोना	bilo-nā	vt. かき混ぜる
			बोना	bo-nā	vt. 蒔く
- $\bar{C}e$ - $\bar{C}e$			भिगोना	b ^h igo-nā	vt. 浸す
खेना	k ^h e-nā	vt. 漕ぐ	रोना	ro-nā	vi. 泣く
देना	de-nā	vt. 与える	सँजोना	sājo-nā	vt. 飾り付けをする
लेना	le-nā	vt. 取る	समोना	samo-nā	vt. 盛り込む
सेना	se-nā	vt. (卵を) だく	सोना	so-nā	vi. 眠る
			होना	ho-nā	vi. 生じる

होना「生じる」は、不定詞形がコピュラ動詞と同じになります

9.2 自動詞，他動詞，使役動詞

- 同じ動詞語幹が自動詞と他動詞を兼ねているものは、限られています。¹⁶⁾

動詞語幹	自動詞	他動詞
खो-	失われる	失う
घबरा-	慌てる	慌てさせる
बदल	変わる	変える
भर-	満ちる	満たす
रच-	創作される	創作する
ढक-	覆われる	覆う

- ほとんどの動詞語幹は、動作や変化のみを表わし、状態は表わしません。¹⁷⁾
- 動作や変化の共通の意味を核に派生した動詞語幹が多数あります。同じ意味を核にしている動詞語幹のグループは、動詞語幹の母音(短/長)の交代と一定の接辞の有無で特徴づけられます。

動詞語幹の母音交代

短母音	長母音
ṽ	ṽ̄
a	ā
i	ī, e
u	ū, o

一つのグループに最大4つの動詞語幹がありますが、実際にはその内の一つが欠けているものがほとんどです。

意味	自動詞	他動詞		
	(自身が)なる	(対象に)する		使役動詞 (人に)させる
		(-C)ṽCṽ̄, (-C)ṽCṽ̄, (-C)ṽCā, (-C)ṽCṽ̄vā		
見る/見せる	दिस- dikḥṽ-	देख- dekḥṽ-	दिखा- dikḥā-	दिसवा- dikḥṽvā-
曲げる	मुड़- muṛṽ-	मोड़- moṛṽ-	-	मुड़वा- muṛṽvā-
付ける	लग- lagṽ-	-	लगा- lagā-	लगवा- lagṽvā-
		Cṽṽ̄, Cṽ̄, Cṽṽ̄ā, Cṽṽ̄vā		
洗う	धुल- dhulṽ-	धोना- dhō-	-	(धुला-) (dhulā-), धुलवा- dhulṽvā-
寝かす	सो- so-	-	सुला- sulā-	सुलवा- sulṽvā-

¹⁶⁾ चल- 自動詞「動く」、他動詞「(計略を)はかる」などは、全く意味が異なるのでここには含めません。

¹⁷⁾ 状態を表わすには、完了表現に似た状態表現を使用します。状態の意味をもつ例外動詞語幹は मिल- 「似ている」、रख- 「保持している」、लग- 「(血縁上)…にあたる」などです。これらは、未完了表現しかありません。

9.2.1 使役動詞

使役動詞も、文法的には他動詞に含まれます。¹⁸⁾

使役動詞は、日本語では「(人に)…させる」、「(人に)…してもらう」などと訳されます。「(人に)」の部分は、手段を示す後置詞 से を使用します。ヒンディー語では、「実際の行為者」と「行為の依頼者」を厳密に区別して表現します。

मैं	राम से	दरवाजा	खुलवाऊंगा ।
私が	ラームに	ドアを	開けさせよう
	राम	दरवाजा	खोलेगा ।
	ラームが	ドアを	開けるだろう
		दरवाजा	खुलेगा ।
		ドアが	開くだろう

मैंने	डाक्टर से	सुई	लगवाई ।
私は	医者に	注射を	打ってもらった
	डाक्टर ने	सुई	लगवाई ।
	医者が	注射を	打った
		सुई	लगी ।
		注射が	打たれた

使役動詞の使用例

दर्ज कराना	登録してもらう	मैंने शादी दर्ज कराई
बाल कटवाना [बनवाना]	散髪してもらう	वह यहाँ बाल कटवाता [बनवाता] है ।
बीमा कराना	保険に入る	बीमा कराइए
परिचय कराना	紹介する	मैं आपसे गुप्त जी का परिचय कराता हूँ ।
जमा कराना	納める	मैं आज फ्रीस जमा कराऊंगा ।
तसवीर धुलवाना	写真を焼いてもらう	तसवीरें धुलवाने में कितना पैसा लगेगा ?

以下、使役動詞を含む動詞語幹グループの例を挙げておきます。「意味」の欄は「(対象に)する」が載っています。

¹⁸⁾ 完了表現の場合、主語の能格化、目的語との性・数的一致に注意してください。

(-C)ṽC_h, (-C)ṽC_h, (-C)ṽC_ā, (-C)ṽC_{āvā} のタイプ

意味	自動詞		他動詞	
	(自身が) なる	(対象に) する		使役動詞 (人に) させる
飲み込む	उगल-	उगल-	-	उगलवा-
起こす	उठ-	-	उठा-	उठवा-
降ろす	उतर-	उतार-	-	उतरवा-
切る	कट-	काट-		(कटा-), कटवा-
…する	-	कर-	-	(करा-), करवा-
引っ張る	खिंच-	खींच-	-	खिंचवा-
掘る	खुद-	खोद-	-	खुदवा-
開ける	खुल-	खोल-		खुलवा-
倒す	गिर-	-	गिरा-	गिरवा-
減らす	घट-	-	घटा-	घटवा-
囲む	घिर-	घेर-	-	घिरवा-
回す	घूम-	-	घुमा-	घुमवा-
乗せる	चढ़-	-	चढ़ा-	चढ़वा-
動かす	चल-	-	चला-	चलवा-
支払う	चुक-	-	चुका-	चुकवा-
印刷する	छाप-	छाप-	-	(छपा-), छपवा-
怒らせる	छिड़-	छेड़-	-	(छिड़ा), छिड़वा-
放す/逃す	छूट-	छोड़-	छुड़ा-	छुड़वा-
燃やす	जल-	-	जला-	जलवा-
目覚ます	जाग-	-	जगा-	जगवा-
勝つ/勝たせる	-	जीत-	जिता-	जितवा-
合わせる	जुड़-	जोड़-	-	जुड़वा-
傾ける	झुक-	-	झुका-	झुकवा-
壊す	टूट-	तोड़-	-	(तुड़ा-), तुड़वा-
泊める	ठहर-	-	ठहरा-	ठहरवा-
恐れる/こわがらす	-	डर-	डरा-	डरवा-
沈める	डूब-	-	डूबा-	डूबवा-
計る	तुल-	तोलना-	-	तुलवा-
取る/手渡す	धम-	थाम-	थमा-	-
押す	दब-	दाब-	दबा-	दबवा-

意味	自動詞		他動詞	
	(自身が)なる	(対象に)する		使役動詞 (人に)させる
見る／見せる	दिख-	देख-	दिखा-	दिखावा-
出す	निकल-	निकाल-	-	निकलवा-
調理する	पक-	-	पका-	पकावा-
握る／握らす	-	पकड़-	पकड़ा-	पकड़वा-
勉強する／教える	-	पढ़-	पढ़ा-	पढ़वा-
届ける	पहुँच-	-	पहुँचा-	पहुँचावा-
殴る	पिट-	पीट-	-	पिटवा-
破る	फट-	फाड़-	-	-
配る	बँट-	बाँट-	-	(बँटा-), बँटवा-
縛る	बंध-	बाँध-	-	बंधवा-
救う	बच-	-	बचा-	बचावा-
増やす	बढ़-	-	बढ़ा-	बढ़वा-
作る	बन-	-	बना-	बनाववा-
降らす	बरस-	-	बरसा-	बरसवा-
売る	बिक-	बेच-	-	बिकवा-
敷く	बिछ-	-	बिछा-	बिछवा-
消す	बुझ-	-	बुझा-	बुझवा-
過ごす	बीत-	-	बिता-	बितावा-
座らす	बैठ-	-	बैठा-	-
呼ぶ	बोल-	-	बुला-	बुलवा-
送る	-	भेज-	-	भिजवा-
認める／なだめる	-	मान-	मना-	मनवा-
殺す	मर-	मार-	-	मरवा-
消す	मिट-	-	मिट्टा-	मिट्टवा-
会う	मिल-	-	मिला-	मिलवा-
曲げる	मुड़-	मोड़-	-	मुड़वा-
置く	-	रख-	-	(रखा-), रखवा-
止める	रुक-	रोक-	-	रुकवा-
付ける	लग-	-	लगा-	लगवा-

意味	自動詞		他動詞	
	(自身が) なる	(対象に) する	(対象に) する	使役動詞 (人に) させる
吊るす	लटक-	-	लटका-	लटकवा-
載せる	लद-	लाद-	-	लदवा-
書く	-	लिख-	-	(लिखा-), लिखवा-
横たえる	लेट-	-	लिटा-	-
説得する	-	समझ-	समझा-	समझवा-
学ぶ/教える	-	सीख-	सिखा-	सिखवा-
聞く/聞かす	-	सुन-	सुना-	सुनवा-
乾かす	सूख-	-	सुखा-	सुखवा-
退ける	हट-	-	हटा-	हटवा-
負かす	हार-	-	हरा-	हरवा-

CVlā-, CV-, CVlā-, CVlāvā- のタイプ

意味	自動詞		他動詞	
	(自身が) なる	(対象に) する	(対象に) する	使役動詞 (人に) させる
食べる/食べさす	-	खा-	खिला-	खिलवा-
生かす	जी-	-	जिला-	-
運ぶ	डुल-	ढो-	-	(डुला-), डुलवा-
与える	-	दे-	-	(दिला-), दिलवा-
洗う	धुल-	धोना-	-	(धुला-), धुलवा-
寝かす	सो-	-	सुला-	सुलवा-
飲む/飲ます	-	पी-	पिला-	पिलवा-
泣かす	रो-	-	रुला-	-
縫う	सिल-	सी-	-	सिलवा-

9.3 一般動詞の語尾接辞

一般動詞の語幹に直接付くそれぞれの語尾接辞を以下に示します。¹⁹⁾

語幹に付く接辞の {} に囲まれた部分は人称・数に従い, // に囲まれた部分は形容詞変化(性・数) します。²⁰⁾

ほとんどの動詞は, 不定詞語幹にそのまま語尾接辞を付加します。²¹⁾ 不規則な動詞は, 語幹部分がやや変化します。語尾接辞に不規則なものはありません。

人称代名詞		命令形	未来形		未完了分詞		完了分詞	
		-{ie}	-{e}-g-ā/		-t-/ā/		-/ā/	
		…しなさい	…するでしょう		…する…		…した…	
人称代名詞		男性・女性	男性	女性	男性	女性	男性	女性
単数	1 मैं		-ū-g-ā	-ū-g-ī				
	2 तू	-φ			-t-ā	-t-ī	-ā	-ī
	3 यह		-e-g-ā	-e-g-ī				
	वह							
複数	1 हम							
	2 आप	-ie	-ē-g-e	-ē-g-ī	-t-e	-t-ī	-e	-ī
	3 ये							
	वे							
	2 तुम	-o	-o-g-e	-o-g-ī				

¹⁹⁾ 命令形から導ける依頼形「…するように」と未来形から導ける不確定未来形「…するかも, …するみたい」は, 表から省略してあります。それぞれ, 命令形, 未来形から自動的に作れます。

²⁰⁾ // に囲まれた部分が形容詞変化と若干違うのは, 女性の単数/複数が区別されていて, それは鼻母音化の有無です。{} に囲まれた部分の単数/複数の区別にも鼻母音化の有無が関与していることに注意してください。

²¹⁾ 語幹末尾に母音で始まる語尾接辞が付加される際, その母音が母音記号で書かれるか, 母音字で書かれるか注意してください。語幹末尾が子音で終わる -Cφ のタイプは母音記号で, 長母音で終わる -V̄ のタイプは母音字で書かれます。

ex) -Cφ + -V → -CV

母音字で書く場合, -ई-, -ए-などを -यी-, -ये- のように -y- 挟みこんで書く人もいます。

9.4 述語動詞部の統合的・系列的関係

一般動詞から作られる述語動詞部は、1語とは限りません。

下の表は、ヒンディー語の述語動詞部の基本構造を示したものです。左から右に向う水平方向は各要素が連鎖していく統合的關係 (syntagmatic relation) を示し、上下の垂直方向は系列的關係 (paradigmatic relation) を示します。

() 内は挿入されうる要素を示します。要素の先頭にある + は分かち書きされる (語の切れ目) ことを示し、- は直前の要素に直接接続する接中、接尾要素であることを示します。{ } で囲まれた要素は主語の人称・数に一致することを、/ā/ は主語の性・数に一致する (形容詞変化) ことを示します。

辞書の意味をもつ動詞語幹が先頭にくるのは共通してます。述語動詞部の最後にくるのは、補助動詞の役割をするコピュラ動詞、²²⁾ (不確定) 未来形語尾、命令 [依頼] 形語尾のみです。

語幹	(+ 語幹)	(-/ā/ + jā)	+ rah-/ā/		+ φ
			(+ sakā)	-t-/ā/	+ h-{ai}
				-/ā/	+ t ^h /ā/ + h-{o}-g-/ā/ + h-{o}
				-{e}-g-/ā/ -{e}	
				-{ie}	
				-{iegā}	

²²⁾ 補助動詞の役割をするコピュラ動詞は、実際に存在する5種類以外に、説明の便宜上ゼロ・コピュラ動詞 φ を加えて6種類あります。

h-{ai} は現在の時間を表わします。

t^h/ā/ は過去の時間を表わします。

h-{o}-g-/ā/ は推測を表わします。

h-{o} は仮想「…のような」を表わします。

ho-t-/ā/ は非現実仮定「…していたら」を表わします。

9.5 命令形「…しなさい」と依頼形「…するように」

語幹					
					-{ie}
					-{iegā}

命令形と依頼形は3種類の二人称代名詞 *तू*, *आप*, *तुम* へのみあります。

命令形は、現時点での行動の実行を相手に求める「…しなさい」を表わします。

それに対し依頼形は、急を要さないか将来における行動の実行を求める「(その時は)…するように」を表わします。

否定辞は *आप*, *तुम* に対しては *न* または *मत* を使用し、*तू* に対しては *मत* を使用します。

		命令形 語幹 -{ie}		依頼形 語幹 -{iegā}	
人称代名詞		男性・女性		男性・女性	
単数	2 <i>तू</i> <i>tū</i> おまえ	- ϕ		—	
複数	2 <i>आप</i> <i>āpā</i> あなた(がた)	-ie		-iegā	
	2 <i>तुम</i> <i>tumā</i> 君(たち)	-o		-nā	

9.5.1 語幹が規則的な命令形と依頼形

ほとんどの動詞語幹は不定詞語幹にそのまま語尾接辞 $-{ie}$ を付加します。例は下のとおりです。²³⁾

人称代名詞		उठना 起きる 語幹 उठ- $u\dot{t}^h\#$ -		लाना 持って来る 語幹 ला- $l\bar{a}$ -	
		命令形	依頼形	命令形	依頼形
単数	2 तू	उठ $u\dot{t}^h\#$	—	ला $l\bar{a}$	—
複数	2 आप	उठिए $u\dot{t}^h\text{-ie}$	उठिएगा $u\dot{t}^h\text{-iegā}$	लाइए $l\bar{a}\text{-ie}$	लाइएगा $l\bar{a}\text{-iegā}$
	2 तुम	उठो $u\dot{t}^h\text{-o}$	उठना $u\dot{t}^h\#-nā$	लाओ $l\bar{a}\text{-o}$	लाना $l\bar{a}\text{-nā}$

9.5.2 語幹が不規則な命令形と依頼形

問題となるのは आप と तुम の命令形語幹だけです。

人称代名詞		करना …する $kar\text{-}, k\ddot{u}\text{-}$		देना 与える $de\text{-}, d(-\ddot{u})\text{-}$		पीना 飲む $p\bar{i}\text{-}, p(\ddot{u})\text{-}, piy\text{-}$	
		命令形	依頼形	命令形	依頼形	命令形	依頼形
単数	2 तू	कर	—	दे	—	पी	—
複数	2 आप	कीजिए	कीजिएगा	दीजिए	दीजिएगा	पीजिए	पीजिएगा
	2 तुम	करो	करना	दो	देना	पियो	पीना

लेना 取る $le\text{-}, l(-\ddot{u})\text{-}$	
命令形	依頼形
ले	—
लीजिए	लीजिएगा
लो	लेना

²³⁾ $n\ c'uunaa\ c'uunaa$ 「触れる」のように動詞語幹が長母音 $-ii, -uu$ で終わっているものは、それぞれ短母音化して $n\ c'u\text{-}\ c'u\text{-}$ が未来形語幹になります。

9.6 未来形「…するでしょう」と不確定未来形「…するかも、…するみたい」

語幹				
				-{e}-g-/ā/ -{e}

一般動詞未来形は、未来の動作や変化に関して、話者の推測や確信「…するでしょう」を表わします。

不確定未来形は、未来形が表わすほどの確信がない推測「…するかも、…するみたい」を表わします。

未来形は、語幹に語尾接辞 $-{e}-g-/ā/$ が付加されたものです。 $-{e}-$ の部分は人称 (1/2/3) と数 (単数/複数) に応じて変化し、 $-ā/$ の部分は形容詞変化です。

不確定未来形は、未来形の語尾接辞 $-{e}-g-/ā/$ の最後の部分 $-g-/ā/$ (性・数に一致する) を省略したものです。従って男性/女性の区別はありません。

		未来形	
		語幹 $-{e}-g-/ā/$	
人称代名詞		男性	女性
単数	1 मैं māī 私	$-ū-g-ā$	$-ū-g-ī$
	2 तू tū おまえ		
	3 यह yahā この人 वह vahā あの人	$-e-g-ā$	$-e-g-ī$
複数	1 हम hamā 私たち		
	2 आप āpā あなた(がた)	$-ē-g-e$	$-ē-g-ī$
	3 ये ye この人たち वे ve あの人たち		
	2 तुम tumā 君(たち)	$-o-g-e$	$-o-g-ī$

9.6.1 語幹が規則的な(不確定)未来形

ほとんどの動詞語幹は不定詞語幹にそのまま未来形の語尾接辞 $\{-e\}-g/\bar{a}/$ を付加します。不確定未来形は省略します。例は下のとおりです。²⁴⁾

人称代名詞		उठना 起きる 語幹 उठ- $u\dot{t}^h-$		लाना 持って来る 語幹 ला- $l\bar{a}-$	
		男性	女性	男性	女性
単数	1 मैं	उठूँगा $u\dot{t}^h-\ddot{u}-g-\bar{a}$	उठूँगी $u\dot{t}^h-\ddot{u}-g-\bar{i}$	लाऊँगा $l\bar{a}-\ddot{u}-g-\bar{a}$	लाऊँगी $l\bar{a}-\ddot{u}-g-\bar{i}$
	2 तू				
	3 यह वह	उठेगा $u\dot{t}^h-e-g-\bar{a}$	उठेगी $u\dot{t}^h-e-g-\bar{i}$	लाएगा $l\bar{a}-e-g-\bar{a}$	लाएगी $l\bar{a}-e-g-\bar{i}$
複数	1 हम				
	2 आप	उठेंगे $u\dot{t}^h-\ddot{e}-g-e$	उठेंगी $u\dot{t}^h-\ddot{e}-g-\bar{i}$	लाएँगे $l\bar{a}-\ddot{e}-g-e$	लाएँगी $l\bar{a}-\ddot{e}-g-\bar{i}$
	3 ये वे				
	2 तुम	उठोगे $u\dot{t}^h-o-g-e$	उठोगी $u\dot{t}^h-o-g-\bar{i}$	लाओगे $l\bar{a}-o-g-e$	लाओगी $l\bar{a}-o-g-\bar{i}$

²⁴⁾ जीना $jin\bar{a}$ 「生きる」, छूना $ch\ddot{u}n\bar{a}$ 「触れる」のように動詞語幹が長母音 $-i, -\ddot{u}$ で終わっているものは, それぞれ短母音化して $ji-$, $ch\ddot{u}-$ が未来形語幹になります。

9.6.2 語幹が不規則な (不確定) 未来形

語幹が不規則な未来形は、下の表のとおりです。未来形の語尾接辞 $\{-e\}$ -g-/ā/ は常に規則的です。不確定未来形は省略します。

人称代名詞		देना 与える d-		पीना 飲む pi(-y)-	
		男性	女性	男性	女性
単数	1 मैं	दूँगा	दूँगी	पिऊँगा	पिऊँगी
	2 तू				
	3 यह वह				
複数	1 हम	देंगे	देंगी	पिएँगे	पिएँगी
	2 आप				
	3 ये वे				
	2 तुम	दोगे	दोगी	पियोगे	पियोगी

लेना 取る l-	
男性	女性
लूँगा	लूँगी
लेंगे	लेंगी
लोगे	लोगी

9.7 未完了表現

語幹				-t-/ā/	+ φ
					+ h-{ai}
					+ t ^h -/ā/
					+ h-{o}-g-/ā/
					+ h-{o}
					+ ho-t-/ā/

未完了表現は、未完了分詞 (語幹 -t-/ā/) とコピュラ動詞が組み合わさった形式です。

- 未完了分詞 (語幹-t-/ā/) は、後がゼロ・コピュラでない限り完全に形容詞変化します。つまり女性・複数でも女性・単数と同じになります。
- 語幹-t-/ā/ + h-{ai} 「…している (現在の習慣など)」は否定文の場合、h-{ai} が省略されゼロ・コピュラになります。

वह हिंदी पढ़ता है ।

वह हिंदी नहीं पढ़ता ।

वे हिंदी पढ़ती हैं ।

वे हिंदी नहीं पढ़ती ।

- 語幹-t-/ā/ + t^h-/ā/ 「…していた (過去の習慣など)」は繰り返す場合、t^h-/ā/ がよく省略されゼロ・コピュラになります。

वह हिंदी पढ़ता था ।

वह हिंदी पढ़ता और उर्दू भी पढ़ता ।

9.7.1 未完了分詞「…する…」

未完了分詞は、動作・変化が未完了である「…する…」を表わします。
動詞語幹に語尾接辞 -t-/ā/ を付加します。 -ā/ は形容詞変化をします。

人称代名詞			未完了分詞 語幹-t-/ā/	
			男性	女性
単数	1 मैं māi 私	-t-ā	-t-ī	
	2 तू tū おまえ			
	3 यह yahā この人 वह vahā あの人			
複数	1 हम hamā 私たち	-t-e	-t-ī	
	2 आप āpā あなた(がた)			
	3 ये ye この人たち वे ve あの人たち			
	2 तुम tumā 君(たち)			

動詞語幹は不定詞語幹と同じで、そのまま未完了分詞語尾 -t-/ā/ を付加します。不規則な動詞語幹はありません。例は下のとおりです。

人称代名詞		उठना 起きる 語幹 उठ- uṭhā-		लाना 持って来る 語幹 ला- lā-	
		男性	女性	男性	女性
単数	1 मैं	उठता uṭhā-t-ā	उठती uṭhā-t-ī	लाता lā-t-ā	लाती lā-t-ī
	2 तू				
	3 यह वह				
複数	1 हम	उठते uṭhā-t-e	उठती uṭhā-t-ī	लाते lā-t-e	लाती lā-t-ī
	2 आप				
	3 ये वे				
	2 तुम				

9.8 完了表現

語幹				-/ā/	+ φ
					+ h-{ai}
					+ t ^h -/ā/
					+ h-{o}-g-/ā/
					+ h-{o}
					+ ho-t-/ā/

完了表現は、完了分詞（語幹 -/ā/）とコピュラ動詞が組み合わさった形式です。

- 完了分詞（語幹-/ā/）は、後がゼロ・コピュラでない限り完全に形容詞変化します。つまり女性・複数でも女性・単数と同じになります。

9.8.1 他動詞完了表現と能格

完了表現で注意しなければならないのは、語幹が他動詞語幹の場合です。

完了分詞（語幹 -/ā/） + コピュラ動詞

は、自動詞語幹の場合は行為主（主格）に従って変化させますが、他動詞語幹の場合は目的語（主格）に従って変化させます。²⁵⁾他動詞語幹の場合、行為主は後置詞 *ने* を伴う形（名詞は後置格、代名詞は能格）になります。

लड़के ने	एक तसवीर देखी ।
लड़कों ने	दो तसवीरें देखीं ।
राम ने	एक केला खाया ।
मैंने	दो केले खाए ।
आपने	उन लड़कियों को देखा ।
उसने	क्या देखा ?
उन्होंने	क्या खाया ?

²⁵⁾ 主格の目的語がない場合は、男性・単数にします。

9.8.2 完了分詞「…した…」

完了分詞は、動作・変化が完了した「…した…」を表わします。

完了分詞は動詞語幹に語尾 $-\bar{a}/$ を付加します。 $-\bar{a}/$ は形容詞変化をします。

人称代名詞		完了分詞 語幹 $-\bar{a}/$	
		男性	女性
単数	1 (मैं māī 私)	$-\bar{a}$	$-\bar{i}$
	2 (तू tū おまえ)		
	3 (यह yahā この人) (वह vahā あの人)		
複数	1 (हम hamā 私たち)	$-e$	$-\bar{i}$
	2 (आप āpā あなた(がた))		
	3 (ये ye この人たち) (वे ve あの人たち)		
	2 (तुम tumā 君(たち))		

9.8.3 語幹が規則的な完了分詞

ほとんどの動詞語幹は不定詞語幹にそのまま完了分詞語尾 $-\bar{a}/$ を付加します。例は下のとおりです。²⁶⁾

人称代名詞		उठना 起きる 語幹 उठ- $uṭhā-$		लाना 持って来る 語幹 ला- $lā(-y)-$	
		男性	女性	男性	女性
単数	1 मैं	उठा $uṭhā$	उठी $uṭhī$	लाया $lā-yā$	लाई $lā-ī$
	2 तू				
	3 यह वह				
複数	1 हम	उठे $uṭhē$	उठीं $uṭhī$	लाए $lā-e$	लाई $lā-ī$
	2 आप				
	3 ये वे				
	2 तुम				

²⁶⁾ सेना $k^hēnā$ 「漕ぐ」、लाना $lānā$ 「持って来る」、सोना $sonā$ 「眠る」のように動詞語幹が母音で終わっているものは、男性・単数で語幹と語尾の間に $-y-$ が挿入されます。

जीना $jīnā$ 「生きる」、छूना $chūnā$ 「触れる」のように動詞語幹が長母音 $-ī, -ū$ で終わっているものは、それぞれ短母音化して जि- $ji(-y)-$ 、छू- $chū-$ が完了分詞語幹になります。

9.8.4 語幹が不規則な完了分詞

語幹が不規則な完了分詞は、下の表のとおりです。完了分詞語尾 *-/ā/* は常に規則的です。

人称代名詞		करना ...する ki(-y)-, k-		जाना 行く ga(-y)-		देना 与える di(-y)-, d-		पीना 飲む pi(-y)-, p-		होना ...になる hu-	
		男性	女性	男性	女性	男性	女性	男性	女性	男性	女性
単数	1 (मैं)	किया	की	गया	गई	दिया	दी	पिया	पी	हुआ	हुई
	2 (तू)										
	3 (यह) (वह)										
複数	1 (हम)	किए	कीं	गए	गईं	दिए	दीं	पिए	पीं	हुए	हुईं
	2 (आप)										
	3 (ये) (वे)										
	2 (तुम)										

लेना 取る li(-y)-, l-	
男性	女性
लिया	ली
लिए	लीं

9.8.5 状態表現

ヒンディー語のほとんどの動詞語幹の辞書的意味は、動作・変化を表わすのみで状態は表わせません。²⁷⁾

状態「…してある，…になっている」は完了表現に似た形式(実はコピュラ動詞文)で補い，動作や変化の完了後の定状態として表わします。主語は自動詞/他動詞の区別なく，常に主格です。

自動詞	語幹- /ā/ + (hu-/ā/) + コピュラ動詞
他動詞	語幹-e + (hu-e) + コピュラ動詞

完了表現	状態表現
राम दिल्ली गया ।	राम दिल्ली गया (हुआ) है ।
वह वहाँ बैठी होगी ।	वह वहाँ बैठी (हुई) होगी ।
मैंने साड़ी पहनी ।	मैं साड़ी पहने (हुए) थी ।
उसने सामान रखा ।	वह सामान रखे (हुए) है ।

²⁷⁾ ヒンディー語・英語辞書で बैठना, पहनना に to sit, to wear などと訳語を当てているのを鵜呑みしてはいけません。

9.9 未完了表現と完了表現

語幹				+ ϕ
				+ h-{ai}
			-/tā/	+ t ^h -/ā/
			-/ā/	+ h-{o}-g-/ā/
				+ h-{o}
				+ ho-t-/ā/

9.10 進行表現

語幹			+ rah-/ā/		+ φ + h-{ai} + t ^h -/ā/ + h-{o}-g-/ā/ + h-{o} + ho-t-/ā/

9.11 可能表現

語幹					+ ϕ
			+ sakā	-/tā/	+ h-{ai}
			+ pā	-/ā/	+ t ^h -/ā/
					+ h-{o}-g-/ā/
					+ h-{o}
					+ ho-t-/ā/
					-{e}-g-/ā/
					-{e}

9.12 受動表現

語幹		-/ā/ + jā	(+ sakɸ)	-/tā/	+ ϕ + h-{ai} + t ^h -/ā/ + h-{o}-g-/ā/ + h-{o}
				-/ā/	+ h-t-/ā/
					-{e}-g-/ā/ -{e}

9.13 複合動詞

語幹	+ 語幹	(-/ā/ + jā)		-/tā/ -/ā/	+ ϕ
					+ h-{ai}
					+ t ^h -/ā/ + h-{o}-g-/ā/ + h-{o}
					+ ho-t-/ā/ -{e}-g-/ā/ -{e}
					-{ie} -{iegā}

10 数詞

10.1 数字

数字		読み方
0	०	शून्य
1	१	एक
2	२	दो
3	३	तीन
4	४	चार
5	५	पाँच
6	६	छह, छः
7	७	सात
8	८	आठ
9	९	नौ

10.2 基数詞 (-1 ~ +3)

	-1	0	+1	+2	+3
		शून्य	एक	दो	तीन
+10	नौ	दस	ग्यारह	बारह	तेरह
+20	उन्नीस	बीस	इक्कीस	बाईस	तेईस
+30	उनतीस	तीस	इकतीस	बत्तीस	तैंतीस
+40	उनतालीस	चालीस	इकतालीस	बयालीस	तैंतीस
+50	उनचास	पचास	इक्खावन	बावन	तिरपन
+60	उनसठ	साठ	इकसठ	बासठ	तिरसठ
+70	उनहत्तर	सत्तर	इकहत्तर	बहत्तर	तिहत्तर
+80	उनासी	अस्सी	इक्खासी	बयासी	तिरासी
+90	नवासी	नब्बे	इक्खानवे	बानवे	तिरानवे
+100	निन्यानवे				

10.3 基数詞 (+4 ~ +8)

	+4	+5	+6	+7	+8
	चार	पाँच	छः	सात	आठ
+10	चौदह	पंद्रह	सोलह	सत्रह	अठारह
+20	चौबीस	पच्चीस	छब्बीस	सत्ताईस	अट्ठाईस
+30	चौतीस	पैंतीस	छत्तीस	सैंतीस	अड़तीस
+40	चवालीस	पैंतालीस	छियालीस	सैंतालीस	अड़तालीस
+50	चौवन	पचपन	छप्पन	सत्तावन	अट्ठावन
+60	चौंसठ	पैंसठ	छियासठ	सड़सठ	अड़सठ
+70	तिहत्तर	चौहत्तर	पचहत्तर	छिहत्तर	सतहत्तर
+80	चौरासी	पचासी	छियासी	सतासी	अठासी
+90	चौरासी	पचानवे	छियानवे	सत्तानवे	अट्टानवे
+100					

10.4 位取り, 桁

十億	千万	十万	千	百	
अरब	करोड़	लाख	हज़ार	सौ	
1,	23,	45,	67,	8,	90
एक	तेईस	पैंतालीस	सड़सठ	आठ	नब्बे

10.5 順序数詞, 集合数詞

	基数詞	順序数詞 -vā	集合数詞 -ō
1	एक	पहला	
2	दो	दूसरा	दोनों
3	तीन	तीसरा	तीनों
4	चार	चौथा	चारों
5	पाँच	पाँचवाँ	पाँचों
6	छह, छः	छठा	छहों
7	सात	सातवाँ	सातों
8	आठ	आठवाँ	आठों
9	नौ	नौवाँ, नवाँ	नौओं
10	दस	दसवाँ	दसों
11	ग्यारह	ग्यारहवाँ	ग्यारहों
99	निन्यानवे	निन्यानवेवाँ	निन्यानवेओं
100	एक सौ	एक सौवाँ	एक सौओं
101	एक सौ एक	एक सौ एकवाँ	एक सौ एकों
102	एक सौ दो	एक सौ दोवाँ	एक सौ दोओं

- 順序数詞「…番目の」は, 1の桁の例外を除けば, 基数詞に -वाँ -vā を付加して作ります. 形容詞変化します.
- 集合数「複数の特定のものが全部が全部」は, 基数詞に -ओं -ō を付加して作ります.

「私の二人の息子は日本にいます。」

मेरे दो बेटे जापान में हैं। (息子は3人以上)

मेरे दोनों बेटे जापान में हैं। (息子は2人のみ)

- 単位を表わす数詞 दर्जन, सैकड़ा, हजार, लाख, करोड़, अरब, खरब などから作られる集合数は, その漠然とした倍数を表わします.

दर्जनों किताबें 何十冊もの本

सैकड़ों आदमी 何百人もの人

हजारों घर 何千軒もの家

लाखों रुपये 何十万何百万ルピー